

PR 収入証明書不要！初心者でも即日借りれるカードローン

PR 【コレ？】私はコレで、家を買いました…HOME4U

2014.11.25 07:00

文字の大きさ 小 中 大 印刷

【衆院選2014】

突然の解散 グッズ会社、対応で大わらわ 東京

ツイート 0 おすすめ 0 g+ 0

■のぼり・たすき…確保できない

選挙の「七つ道具」といわれるのぼり、たすき、ポスター、選挙カー…。政党本部や都内の候補者事務所だけでなく、来春の統一地方選に向けて動いていた選挙グッズ会社も、突然の衆院選で大わらわだ。解党したみんなの党の候補者の中には、所属政党が決まらずに選挙態勢に入れないケースもあり、混乱が続いている。

机や椅子、電話、ファクスなど選挙事務所の開設を支援するレンタル会社、エイトレント（渋谷区広尾）は「統一地方選で最大どれだけの需要があるか準備を進めていたところだったが、衆院選は選挙スタッフの数や事務所の規模も地方選挙とは圧倒的に違う」と対応に追われる。

特に今回は「急な解散で事務所がすぐに決まらず、機器の貸し出しに待ったがかかるケースも多い」と混乱ぶりを説明する。

選挙用の演説カーを扱う大田区西糀谷のレンタカー会社には、問い合わせが相次いでいる。ただ、「統一地方選に向けて増車の準備をしていたが、今回の衆院選には台数確保が間に合わず、お断りしている」というほどだ。

選挙用ののぼり、たすき、ポスター印刷を請け負う福井市の会社にも、政党本部や全国の支部、候補者事務所からの注文が殺到している。担当者によれば、「たすきやポスター印刷は通常通り、5営業日で納品できているが、党本部から数千枚単位で注文が来るのぼりは、ポールを通す部分の縫い付けもあり、納期をこなせないでいる」と悲鳴を上げる。

陣営側も「早く事務所開きをしたいが、場所が決まらない」（自民）、「解党で所属政党が決まらず、選挙準備が進められない」（元みんなの党）など、早くも“苦戦”を強いられている。

<http://www.sankei.com/region/news/141125/rgn1411250001-n1.html>